

お天気解説

アキラのズバツと

温暖化による影響シリーズ

「この夏の異常気象」その5

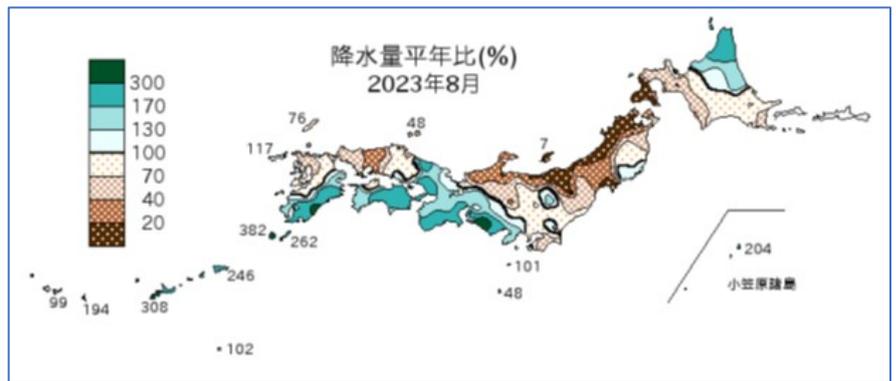
この夏の少雨記録

～江戸川区の記録は？～

令和5年9月29日

江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聡

この夏の高温の原因に太平洋高気圧が記録的に強かったことが挙げられています。太平洋高気圧の直下は下降気流となっており大気の状態が安定して、雲一つない青空が広がっています。一方、この高気圧の周辺では湿った空気の影響で大雨が降りやすくなります。



図：全国の降水量の平年比図（2023年8月） 気象庁HPより

温暖化で干ばつと大雨が増えるのは、このことに関係しているのかもしれませんが。

この8月、関東甲信地方の降水量はほぼ平年並みとなり、江戸川臨海93mm、東京都心132.5mmで共に平年の86%でしたが、この高気圧に広く覆われた北陸地方は降水量がかなり少なく、特に新潟では2mmと平年の僅か1%しか降りませんでした。また、関東地方の水源に近い水上（群馬県）で80.5mm（平年比38%）、藤原で51.5mm（平年比28%）とかなり少なかったです。江戸川区に関わり深い利根川水系のダム貯水率が低く、水不足が懸念されています。なお、国土交通省関東地方整備局のHPによると、9月25日現在の利根川上流の9つのダム貯水率は66%と少なくなっており、節水呼びかけております。

1994年夏、日本列島は広く太平洋高気圧に長い期間覆われ夏の降水量がほとんど無く、春の降水量が少なかったことも手伝って大変な渇水に見舞われました。断水になる地域が広が

2023年09月29日11時 気象庁 発表				
日付	今日 29日(金)	明日 30日(土)	明後日 01日(日)	
東京地方	曇時々晴 	曇	曇時々晴 	
降水確率(%)	-/20/20	30/40/30/20	20	
信頼度	-	-	-	
東京 気温 (℃)	最高	29	30	31 (29~33)
	最低	-	23	23 (21~24)

東京地方の週間天気予報より

気象庁HPから抜粋

（週末は蒸し暑くなりそうですが、週明けからは、気温はほぼ平年並みになりそうです）

り、中には断水20時間という地域もありましたが、江戸川区など都内では水源のネットワーク化が進んでいたため断水を免れました。9月末、大型台風が紀伊半島に上陸して、長期に及んだ水不足も解消されたのでした。

10月の温暖化による影響シリーズは「台風や大雨による災害」というタイトルで、次回は「台風が弱まらずに近づく」をお送りします。